

子育て支援事業 「子育て村」事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 佐久市岩村田地区では、長野新幹線「佐久平駅」周辺などに近郊型大型店の出店が相次いだことから、商店街が独自の取り組みとして空き店舗を活用し、地域交流のためのコミュニティスペース「中宿おいでなん処」や食料品店舗「本町おかず市場」などの事業展開により地域密着型の商店街を目指し、中心市街地の活性化に向けた取り組みを行っている。
- 少子高齢化が社会問題となっている中で、子育て中の保護者から、地域とのコミュニケーションを望む意見があり、商店街でも「地域の子ども達を自分達で育てよう」という意識が高まり、地域密着事業の一環として、人が集まる商店街が様々な人達の交流の接点となり、役立つサービスや環境を提供することにより「安心して子育てができる街」を目指し、「子育て村」を開村した。

事業内容

- 協賛店による子育て村会員への各種サービスの提供
- 商店街のプロの技を活かした体験講座型イベント等の開催（延べ10回開催、980名参加）
 - ・ 4月：親子花見まつり
 - ・ 6月：プラネタリウム&天体観望会、呉服屋のおかみさんに教わるゆかた着付け講座
 - ・ 7月：早寝早起き朝ごはんの会
 - ・ 8月：エコeco さくフェスタ出店
 - ・ 10月：子育て村食欲の秋まつり
 - ・ 11月：子育て講演会、作って売ってお店屋さん体験～子供屋台村
 - ・ 12月：家族で楽しく手作り！世界で一つだけのクリスマスケーキ♪
 - ・ 1月：中華の達人が伝授！手作り肉シュウマイを家族で食べよう&炎のどんどやき



事業効果

- 商店街で行っている子育て支援事業ということで大変注目されたことから、マスコミで度々取り上げられ、商店街のイメージアップにつながった。
- それぞれのイベントに参加した会員には大変喜んでいただき、評判や口コミでの入会希望者が多数あった。
- 協賛店でも積極的に声掛けをし、平成19年度末には会員数は当初の目標の500世帯を突破し、520世帯となった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 500世帯を突破した子育て村を今後よりよく運営していくために、平成20年度は「三世交代交流事業・父親ふれあい事業」、「商店街託児所設置の為の勉強会」、「個店対応事業」を三本柱にすえて事業を行なう予定である。
- 協賛店で子育て支援に視点を当てた自店の商品やサービスについての情報発信をすることにより、とかく大型店に流れがちな消費者とのつながりを深めることができた。

【選定のポイント】

大型店の利用が多い子育て世代と地元商店街との交流の取り組みで商店街の活性化に寄与している。

| | | |
|-------------------------------|-------|------------|
| 団体名：岩村田連合商店会（佐久市） （会員182名） | 事業タイプ | ソフト事業 |
| 連絡先（担当：森泉、0267-67-2235） | 事業費 | 1,632,001円 |
| | 支援金額 | 1,283,000円 |